

抗議文

原子力空母ジョージ・ワシントンの横須賀入港に抗議し、原子力空母の横須賀母港撤回を強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 ロバート・トーマス中将 殿
在日米海軍司令官 テリー・クラフト少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 ディビット・グレニスター大佐 殿

2014年8月8日

原水爆禁止神奈川県協議会
神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

8月8日午前8時35分、米原子力空母ジョージ・ワシントンが横須賀基地に入港した。原子力艦船の入港は今年7回目で、通算888回となった。

今回の横須賀基地に入港した原子力空母GWは、今年5月24日に横須賀港を出港し、オーストラリア、インド、韓国などと日本を含めた軍事訓練をおこない、8月1日、3年4ヵ月ぶりに佐世保港に入港し、市民のきびしい入港反対の抗議を受け、今回の横須賀港入港である。

原子力空母GWの日米印共同訓練(マラバル2014)をはじめ一連の軍事演習は、北東アジアの軍事的緊張を高めるものである。東アジアの平和と安全を求める日本国民の願いに真っ向から挑戦するものであり、断固抗議する。

また、オスプレイが厚木基地をはじめ日本全土を所狭しと訓練飛行をおこない、国民・神奈川県民の命と生活を脅かしている。厚木基地に飛来しているオスプレイは、8月18日にも4機が飛来しようとしている。これは、国民のいのちとくらしに一顧だにせず、我が物顔で日本全土で勝手気ままな軍事訓練行動をとっているものであり、今回の原子力空母の横須賀入港とともに強く抗議する。

首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まっている今日、巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。我々はこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍はこれに答えず、詳細な情報の開示を拒否する態度をとっている。多くの県民は、改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを強く求めている。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本に、戦争のための軍艦が、入出港・滞在し実質的な母港としている事態は、断じて許せない。

以上の点から、我々は、本日の原子力空母GWの横須賀に入港に抗議するとともに、横須賀を戦争の出撃拠点とする原子力空母の母港化は直ちに撤回することを要求する。

以上